

姥捨山

羽黒アキ

平成三年一月二日

あらすじ

21世紀半ば。少子高齢化と医療従事者不足に対応するための悪法、『医療資源の有効活用に関する法律』が施行された。この法律は、慢性的に不足する医療資源をより有効に――国家にとって有益な者を優先して――活用するというものであった。そして不要、あるいは優先順位が低いと見做された者は、強制的な尊厳死――積極的な治療の不実施――が行われた。

登場人物

- 男** 衛生局に務める男。傷病者の搬送を担当する。必要なら葬式もやる。
- 少女** 祖父が倒れたことを衛生局に通報してしまう。
- 父親** 少女の父親。

利用規定

ニコ生、ツイキャス、声劇会議で純然たる趣味として演じられる場合は報告不要です。その他の場合は一報ください。

録音・録画される場合は、完成品を頂けると非常に励みになるばかりではなく、場合によっては次作へのインスピレーションとなるため非常に喜びます。また、――居ないとは思いますが――**有償案件に用いられる場合、営利・宣伝活動の一環として演じられる場合は著作権利用料が発生しますの****で必ず事前にご相談ください。**

作者連絡先

Skype: gioseffo

LINE: ex.parrrot

Discord: ハキ#5530

Twitter: @AKI_HAGURO

メール: aki.haguro@gmail.com

1 少女の家

老人が倒れている。その周りに老人の息子夫婦がとその娘がいる。娘——少女——が電話に向かって話し始める。

少女 もしもし？救急ですか？おじいちゃんが大変なんです！

男 N 21世紀半ば。少子高齢化と医療従事者不足に対応するための悪法、『医療資源の有効活用に関する法律』が施行された。この法律は、慢性的に不足する医療資源をより有効に——国家にとって有益な者を優先して——活用するというものであった。そして不要、あるいは優先順位が低いと見做みなされた者は、強制的な尊厳死——一切の積極的な治療の不実施——が行われた。

傷病人の発生の連絡を受けた自治体は、衛生局の人間を派遣する。そして、傷病者の「カテゴリー」とその場の状況によって、搬送先を決定する。

病院または、火葬場に。

父親 おい、やめないか！そんな電話をして、どっちに転ぶか……

少女 だって、このままにしておけないもん！おじいちゃんともっと一緒に居たいもん！

数分後

男 ちわー。衛生局の者でース。

父親 き、来た……！

少女 え、何？衛生局の人なら助けてくれるんじゃないの？

男 患者はハラグチ・アキオさん85歳でお間違いないですか？

父親 は、はい……。

男 個人番号からの資料によると、ご家族は息子さん夫婦だけで自立済みと。あなたがその息子さん？

父親 え、ええ……。

男 この度は、誠にご愁傷様です。

父親 やっぱり……！死神……！

男 死神じゃないですよ。地方公務員です。

少女 ねえねえ、どういうことなの？衛生局だから助けてくれるんでしょう？

男 この子は？

父親 私の娘なんです、なにぶんおじいちゃん子で。

男 そうです、か。

(少女の方を向き)あー……んー、おじさんはね、君のおじいちゃんに人間らしい死に方を留意しにきたんだよ。

少女 えっ？ 助けるんじゃないの!?

男 うん。助けられないんだ。この国にはお医者さんが本当に少なくてね。いや、風邪を診れる程度ならいっぱいいるよ？ でも、こっとう難しい状況をなんとかできるお医者さんは本当に少ないんだ。だから、一人助けたら何人かを見殺しにすることになっちゃう。でも早いもの勝ちにしちゃうのも可哀想だよ。未来のある子どもだっているんだから。だから、その人にどれくらい未来があるかで助ける人を決めてるんだ。おじいちゃんはもう85歳だし、充分生きたよねってこと。

少女 そんな……私……そんなつもりじゃ……

男 患者さんはカテゴリーEの御老体ですので、このまま火葬場に持っていきますね。息を引き取るまでの待機所がありますので、ご家族はそちらで一緒に待機していただきます。納棺のうかんと葬儀もそちらで行なえますので、葬儀にお呼びしたい方がいらっしゃれば、今うちにご案内をお願いします。それと、こちらの書類に捺印なついでんをお願いします。

2 葬儀

葬儀。読経中。少女が泣いている。

男 (シーン終わりまで裏で経をあげている・適当なレパートリーがない場合は巻末に「別紙・お経」があります。)

間

少女 (泣いている)えぐ……どうして、どうしてよお……

父親 ……お前のせいじゃない……よ……

少女 こんな……こんなはずじゃなかったのに……。おじいちゃん、一緒に居たいよお……

間

3 アパートの屋上

少女M おじいちゃんのところに行きます。探さないでください。

少女 これで、よし。おじいちゃん、今行くね……。 (飛び降りる)えいっ！

(落下中)キヤアアアアアアアアアアアアアアアア!!

4 病院の一室

少女 (目を覚まし) あれ……？

男 気がついたかい？よかった。もうあんなことしちゃダメだよ？

少女 なんて……怪我をしたら衛生局の人が死に場所に連れて行ってくれるんじゃないの……？

男 とんでもない！お嬢ちゃんはカテゴリーA+だからね。僕達も頑張って手当したんだよ。

少女 なんておじいちゃんは助けてくれなかったの、なんで私は助けたの!?私はおじいちゃんと一緒に居たかっただけなのに……。

終劇

別紙・お経

それ、人間の浮生ふしやうなる相をつらつら観ずるに、おおよそ儂おぼろきものは、この世の始中終しちゆうじゆう、まぼろしのごとくなる一期いちきなり。

されば、いまだ萬歳まんざいの人身にんじんをうけたりという事を聞かず。一生すぎやすし。今に至りて誰か百年の形体を保つべきや。我や先、人や先、今日とも知らず、明日とも知らず、遅れ先立つ人は、元のしづく、末の露つゆより繁しげしと言えり。

されば、朝あしたには紅顔こうがんありて夕ゆふには白骨はくこつとなれる身なり。すでに無常の風きたりぬれば、即ち二つの眼たちまちに閉じ、一つの息ながく絶えぬれば、紅顔こうがんむなく変じて、桃李とうりの装いを失いぬるときは、六親眷属ろくしんけんぞくあつまりて嘆き悲しめども、さらにその甲斐あるべからず。

さてしもあるべき事ならねばとて、野外に送りて夜半よわの煙となし果てぬれば、ただ白骨のみぞ残れり。あわれといふも、なかなか疎かなり。されば、人間の儂おぼろき事は、老少不定ろうしうふじやうのさかいなれば、誰の人も早く後生の一大事を心にかけて、阿弥陀仏を深く頼み参らせて、念仏申すべきものなり。あなかしこ、あなかしこ

あとがき

医療従事者不足で、救急車呼んだはずが霊柩車がきたらどれだけ不謹慎だろう。そう考えてたら出来上がってました。

「演じてみた」報告は不要ですが、頂けると励みになります。また、演じた際の録音などを頂けると、飛び上がって喜ぶばかりか、それ自体がアイデアの源泉になったりもします。

最後になりましたが、この本に対する誤字脱字、読みにくい、つまらない等のご指摘は、左記にお願いいたします。

Skype: gioseffo

LINE: ex.parror

Discord: ㄥキ#5530

Twitter: @Aki_HAGURO

メール: aki.haguro@gmail.com